

2011年3月11日に東日本を襲った大地震、津波は多くの犠牲者を出しました。本プロジェクトはこの度の大地震と津波の記憶を、桜の植樹によって永続的なものとするを目的としています。このプロジェクトは、3.11の大津波が間近まで到達した被災地域の小中学校を中心に桜を植えることからはじめ、やがては学区、地域全体にその輪を広げていきます。桜を植樹した学校が1つの点となりしだいに線となり、その桜のラインがセイフティラインとなります。毎年咲く桜を世代を超えて語り合うことにより、東北4県の人々をはじめ多くの人々のこころを結ぶことを目指します。

東北4県の心をつなぐアート

青森から福島の被災地を桜で結ぶ本プロジェクトは、美術家村上タカシと建築家藤原純の発想からスタートしたもので、数百キロに及ぶそのライン全体がアートを構成します。このアートの実現を通じて東北4県の人々の心がひとつに結ばれることを目指します。

参加型プロジェクト

日本のみならず世界中の人々が寄付、もしくは植樹に参加することができます。個人で、会社単位、学校単位でご参加ください。毎年の入学・卒業、入社記念植樹など、プロジェクトは連綿と続いていきます。また各地で自主的に行われる植樹についてもサポートします。

地域活性・復興プロジェクト

桜の植樹のために寄付をする、桜の植樹に世界から人々が訪れる、桜を観に人々が集まる。人々が東北を訪れることで復興、活性化に精神的、物質的に寄与します。

日本から世界へのメッセージ

桜は日本の花として世界の人々に愛されています。本プロジェクトの遂行は、日本の復興を世界に知らせるメッセージとなります。

サポーター組織の結成

学生、社会人、地域の人々が継続して参加できるサポーター組織に参加することにより、プロジェクトに多くの人が主体的に参加できます。

アート・ワークショップ

田老第三小学校では大学生による東日本大震災支援活動としてアート・ワークショップが行われました。



We organize workshops for children, about Sakura or other themes, by artists and/or university students before or after ceremony of planting Sakura.



～ご寄付のお願い～

桜 3.11 プロジェクト実行委員会では、桜 3.11 プロジェクトの活動をはじめ、アートと社会をつなぐ事業の振興を図り、同プロジェクトの安定的発展を図るとともに、公益の増進に寄与することを目的としています。

お振込先
三井住友銀行 (009) 仙台支店 (311)
普通 口座番号 (1796589)
名前 (桜3.11プロジェクト実行委員会)
サクラサンイイチ

桜の植樹 Sakura

Our Sakura is Edo-Higan-Sakura. It is said that it lives for 1,000 years. According to the records, a tsunami of the same height as March 11 attacked the area 1,000 years ago. We believe we have to pass the memories to the next generations for 1,000 years.



宮城県七ヶ浜町立汐見小学校と岩手県宮古市立田老第三小学校では千年後も咲きつづけるようにと樹齡千年をこえるものもあるエドヒガンが植えられました。



鎮魂の思いと未来への希望をこめて宮城県七ヶ浜町立汐見小学校と、400戸を数える仮設住宅が並ぶ岩手県宮古市田老地区で桜色の花火が打ち上げられました。

桜花火 Fireworks

【お問い合わせ先】

桜 3.11 プロジェクト実行委員会

仙台市青葉区片平 1-1-3-606 (一般社団法人 MMIX Lab 内)
村上タカシ mmix@mac.com 070-6970-1976